



2024年10月

読書週間が始まります



10月27日～11月9日

読書週間中、川通中図書館では、貸出冊数を通常の2冊から増やし、**5冊**までとします。また、期間中（川通中では10月29日から11月8日まで）に本を1冊借りると、1回「くじ」を引くことができます。（^{から}空くじはありません！）この機会にたくさん本を読んでみませんか？

図書委員会企画 「物語をつくろう！」を開催中 11月8日まで

物語のタイトルは、「かめたろうの大冒険」です。

みんなでかめたろうの物語をつくっていきませんか？

図書館に来て、「ひとり1日1文」書かだけです。どんな物語ができるでしょうか？どうぞお楽しみに！



2024年の標語は「この一行に逢いにきた」です

「防災」に関する本を紹介しています。

「防災」に関する本について、図書委員がポスターを作りました。また、図書館内には「防災」に関する本を展示しています。どうぞご覧ください！



＜ポスターで紹介した本＞

- 「海よ光れ！ 3・11 被災者を励ました学校新聞」
田沢五月・文 国土社
- 「いのちをつなぐ犬 夢の丞物語」
佐藤真澄・著 静山社
- 「地震イツモマニュアル」
地震イツモプロジェクト・編 ポプラ社
- 「はれるんのぼうさい教室」
堀江譲・著 東京堂出版
- 「特別授業3. 11 君たちはどう生きるか」
あさのあつこ ほか・著 河出書房新社
- 「人を助けるすごい仕組み ボランティア経験のない僕が、日本最大級の支援組織をどうつくったのか」
西條剛央・著 ダイヤモンド社



□□□ 川通中図書館案内 その5 「貸出・返却カウンター」 □□□

来館した生徒の皆さんに、折り紙でつくった「小さなオバケ」に顔を書いてもらっています。
 いろいろな表情のオバケがカウンターに並んでいます。(10月31日まで)



利用者カードは ここ にあります



◇◇◇新しい本が入りました◇◇◇

(一部を紹介します)

分類	書名	著者など	出版社	紹介等
210	「縄文人がなかなか稲作を 始めない件」	笛木あみ	かもがわ出版	縄文人の衣食住にはじまるライフスタイルから、そこに秘められた思想、死生観まで、想像力を大胆に働かせながら紹介する。
548	「オリヒメ 人と人をつなぐ分身ロボット」	吉藤オリィ	子どもの未来社	行きたいところに行けない人のもうひとつの体、つまり「分身」になってくれるロボットが生まれるまでの軌跡を、開発者の生い立ちを追いながら紹介する。
726	「のび太くん、もう少しだけ がんばって」	藤子・F・ 不二雄	小学館	「あわてなくていいよ。人生は長いんだ」「ドラえもん」全45巻から、作者が読者に届けたいと願った励ましや愛、真理や人生の言葉を集め、紹介する。
783	「こころのラリー」	水谷隼 石川佳純	小学館	元プロ卓球選手の水谷隼と石川佳純が、それぞれの経験をもとに、メンタルの整えかたと明日へのヒントを伝える。
835	「ライオンのプライド 探偵になるクマ」	前田まゆみ	創元社	ライオンの集まりは Pride(誇り)、クマは Sleuth(探偵)…。独特な英語の文化である「集合名詞」を、美しいイラストとともに紹介する。
913	「透明なルール」	佐藤いつこ	KADOKAWA	「人にどう思われるか」を気にしすぎる女子中学生が、不登校ぎみの転校生やマイペースな学級委員との交流を通じて、自分をしばる「透明なルール」に気づき…。